

令和5年度実施(令和3-4年度事業実績分)指定管理者管理運営状況中間評価(検証)シート【大磯町立福祉センターさざれ石】

評価項目	評価結果	評価内容
① 施設管理全般	B	概ね良好である。
② 維持管理について	B	概ね良好である。
③ 管理運営費及びサービスについて	B	概ね良好である。
④ 利用者の意見等への対応について	B	概ね良好である。
⑤ 人員配置、研修について	C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の経験年数に偏りがあるため、人材育成と適正配置を検討する余地がある。 ・ 入職者、職員全体が研修を受講できているとは言えなかった。 ・ 人員確保をどのようにしているのかが分からない。
⑥ 安全対策について	C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害や火災があった時、避難の支援が必要な方が毎日利用しており、避難は課題として、具体的に避難訓練や机上訓練の実施を考え、事業計画に盛り込む必要がある。 ・ 避難訓練が利用者の安全を守る上で良好とは言えなかった。 ・ 避難訓練はデイサービスの利用者にとだわらず、会議室の利用団体と一緒にを行うなど工夫できると思われる。
⑦ 個人情報の保護、情報公開について	B	概ね良好である。
⑧ 環境への配慮	B	概ね良好である。
総合的所見		<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉協議会の職員体制が年齢や経験に偏りがあり、将来的な人材育成につながっていない。福祉センターさざれ石は町施設を指定管理者として社会福祉協議会が運営していることを職員全体で認識した上で運営に当たれるように、全体で認識の共有を必要とする必要がある。 ・ 施設管理者として、利用者の安全対策を徹底すること。 ・ 自主事業による財源の確保などにより、小規模修繕など費用確保を工夫し、施設管理をすること。 ・ 報告書は、計画書と同じ項目立てで記載されると、実施の確認・評価をしやすいのではないか。 ・ 計画書に、研修の対象、未受講者への伝達など受講管理についても職員の質の向上への取組みとして記載を検討してほしい。 ・ 計画書は毎年ほぼ同じ内容だが、事業や業務の課題や次年度への改善点は報告書に記載し、計画書にも反映が必要ではないかと考える。 ・ 指定管理者選定時に提出された指定管理者指定申請書によると、新たな自主事業を想定していたようだが、令和3、4年度の実績報告書にそれらが実施された記載はない。自主事業の進捗状況を確認したい。 ・ 通所介護職員と職員に対し、研修が行われていることは、令和3、4年度の実績報告書で確認することができる。これ以外に指定管理者選定時に提出された指定管理者指定申請書では、運営目標として「福祉に関するボランティア活動の拠点」を定めており、資質向上の研修や相談窓口を福祉センターで行うこととしているが、令和3、4年度にはどのような活動を行ったのか。 ・ 人員の増加により、多くの命を守り、安全を一番とすること。 ・ 利用者を含めた避難訓練を実施すること。 ・ 研修により専門知識を職員が共有すること。

評価区分

A 適切・良好であり、高く評価できる部分がある。

B 概ね良好である。(一部に適切・良好でない部分があったが、改善済みである。)

C 一部に適切・良好でない部分がある。

D 水準に未達の場合